

2022年度 第4回 佐鳴台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2023年 1月23日（月） 13時30分から15時45分まで
- 2 開催場所 佐鳴台小学校 コミュニティールーム
- 3 出席委員 栗田 高典、菊地原敦史、中条 操、山口 祐子、橋本 博行、嶋津 歌絵
辻 博康、羽広 雄太、結城 真澄
山下さおり（リモート）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 望月慎吾（佐鳴台協働センター）
- 6 学 校 金原 佐知子（校長）、畠山 徹（教頭）、大石 晴子（主幹）
待井 香世（CS担当教職員）、朝倉 君江（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 朝倉 君江

10 議長の選出

羽広委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 令和4年度 学校評価について
- (2) 佐鳴台小学校 学校運営協議会の自己評価について

12 会議記録

司会の羽広委員から、委員総数10人のうち10人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和4年度 学校評価について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき「令和4年度 学校評価について」説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・コロナになってから子供と大人の感じ方に違いが出ている。見えない部分での不安感が大人には多いが、子供は不安ながらもできることで活動している。ピアサポートを入れてみたけど、難しいところはどこか？（山下委員）
- ・子供同志のピアサポートとは？共感と対等性だと思っているが。（山口委員）
- ・立場が違う相手のことを思いやる。1年から6年と発達段階の広い中では難しいのではないか。先生たちも難しかったのではないか。何かお手伝いできたらと。（山下委員）
- ・以前先生たちと一緒にピアサポートの研修をうけたことがある。コミュニケーションのあり方だと理解した。（菊地原委員）
- ・ホワイトボードもノートも使って、机が小さいと思う。能力を出し切れなと思う。折りたたみ可能なパネルとか付けられると良い。学習に個人差が出てくると思う。先生たちだけでみるのは大変ではないか。（山口委員）
- ・月1回でもお手伝いに入れる人が佐鳴台にはたくさんいると思う。（山口委員）

・「自分とつながる」という表現が分かりにくい。哲学みたい。(山口委員)

※校長より・・・ピアサポートとは、不登校やいじめを起こさないように、仲間（ピア）でサポートする意味合いとしている。

思いやりを行動で示せる子になろう！

実際、教員からも意見が出ているように子供たちに意識付けできなかったので、今後の課題。

「自分とつながる」は佐鳴台小独自の言葉。「自己理解・自己管理能力」という意味だが、子供には難しいので分かりやすく表現した。

※教頭より・・・支援員の配置をしてはいるが、足りないのが現状。午前中勤務のため、午後はボランティア等でお願いできたらと思う。

色々な方に授業へ入ってもらい、子供たちも喜んでいる。ぜひより多くの方に学習支援で関わっていただけるとうれしい。

(2) 佐鳴台小学校 学校運営協議会の自己評価について

教頭より次回協議会までに評価用紙への記入依頼の説明。

13 その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年2月21日（火）14時30分から開催する旨の報告があった。